



教育支援

テクノロジー

広い視野で選択肢を広げ、
自分の軸で、ライフステージにあった
柔軟な選択ができる人に。

GLAキャリア・メンター

ENDO Ryoko

遠藤 楽子 氏

Manabie International Private Limited



東京都生まれ。聖心女子大学文学部教育学科卒業。イギリス・サセックス大学大学院国際教育開発学科(修士課程)修了。学生時代は国際協力のサークルに所属し、中東やフィリピン、スリランカなどで活動する。その他、東ティモールでのJICA研究調査にアシスタントとして同行。インドネシアでのACCUの国際会議に出席。2017~2019年、在アルバニア日本大使館にて「草の根・人間の安全保障無償資金協力(ODA)」の外部委嘱員として勤務。2019~2021年、国連UNHCR協会に勤務。2021年よりManabie International Private Limitedにて、教育DXコンサルを担当。フリーランスでも、英語コンサルタントや、アルコールインクアート講師などを務める。

私のスタートライン

生まれる国も環境も自ら選ぶことはできないのに、貧困層に生まれたというだけで貧困から脱することができない。それは、あまりにも理不尽ではないだろうか——そんな憤りにも近い思いを抱くきっかけとなったのが、高校3年生の時に参加したフィリピンでのスタディツアード。貧しさゆえに十分な教育の機会を得られず、貧困の連鎖を断ち切ることができない子どもたちの痛ましい現状を目の当たりにして、強い衝撃を受けました。その後、大学に進学した私は、「ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育)」を研究する教授との出会いを経て、質の高い教育の提供により人材が育ち、それが社会全体の成長につながるのだと確信し、教育支援への関心を深めてきました。そして教育開発学を大学院で専門的に学ぶために、イギリスへ飛び立ちました。

理想とする支援を実現するために

イギリスでは通常1年間で修士課程を修了します。そのため夜更けまで大学図書館に籠って文献を読み漁り、論文の執筆に没頭する日々を送りました。留学先が開発学で世界屈指の大学であったこともあり、各国から集まった優秀な仲間たちと切磋琢磨し、教授から示唆に富んだ助言をもらいながら、バルカン半島のコソボを研究対象地域に「ポスト紛争社会における教育開発」というテーマで修士論文を書き上げました。大学院修了後は、コソボとも密接な関係にあるアルバニアに開設された日本国大使館に入職。ODAのプロジェクトコーディネーターとして、国際支援の現場へ一步を踏み出しました。ここで大きなやりがいを感じる一方、国頼みの支援の限界も感じるようになり、日本に帰国。日本では東京の国連UNHCR協会で、難民支援のための民間資金を調達する仕事に携わりました。

働くイメージをつかみ、ポジティブに変化する

その後、自らの原点である教育支援に立ち返り、オンライン教育事業を展開する企業・Manabie(マナビー)に参画しました。貧困の悪循環を生み出す根源には、教育機会の不平等があります。しかし、貧困の中にあっても学びへの意欲をもつ人は多く、機会さえあれば優秀な人材として成長できるはずです。今は途上国でもスマートフォンが広く普及しています。デバイスが一つあってオンラインで簡単に教育にアクセスすることができれば、教育の機会の平等を実現できると考えました。また、支援を「する側」「される側」の構図が成り立つ支援は、「される側」が依存してしまうケースもあります。そこで自立・自走を促す支援を推し進めるためには、ビジネスでの教育支援が、私が理想とする支援のあり方になりました。Manabieは今後、東南アジアやアフリカでも事業を展開する予定です。ここから、世界中の教育機会の平等を実現したいと考えています。

GLAキャリア・メンターとして伝えたいこと

国際協力や開発支援に携わりたい。そんな想いと熱意を抱きながらも、実際にはどのような選択肢があり、どのようにキャリアを積んでいくのか、具体的にイメージできない方は多いのではないかでしょうか。そこで私は、学生生活の過ごし方をはじめ、チャンスをものにできる人になるために必要なヒントなど、さまざまなアドバイスを通じて皆さんの可能性を広げるお手伝いをしていきたいと考えています。私が高校生の頃に思い描いた自分の将来像は、途上国の現場に出て、プロジェクトの実現に向けて自分自身も途上国で長い期間生活しながら働く姿でした。しかし今は「教育」を自分の軸に、東京を拠点として世界にネットワークを張りながら、Manabieだけではなく、フリーランスの英語コンサルタントなど、活動の幅を広げています。こうしたパラレルキャリアという選択肢も含め、多様な進路の可能性を指し示していけたらと思います。